

千葉県 NEWS

CHIBA CANCER CENTER NEWS

がんセンターニュース



第15号
平成22年4月30日発行
発行:千葉県がんセンター

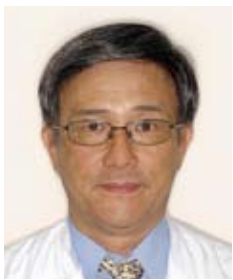
理念

心と体にやさしいがん医療

私たちは、一人でも多くの千葉県民に、
質の高いがん治療を提供します。

がん診療連携拠点病院とがんセンターの役割

副センター長 木村 秀樹



平成17年にがん対策基本法が制定されました。これに伴い厚生労働省健康局長通知に基づき平成18年から、全国どこでも質の高いがん医療を提供することが

できるよう、がん診療連携拠点病院が全国各地に指定されました。千葉県では都道府県がん診療連携拠点病院として千葉県がんセンターが指定され、地域がん診療連携拠点病院には千葉大学附属病院、国立千葉医療センター、慈恵医大附属柏病院、国保松戸市立病院、船橋医療センター、東京歯科大学市川総合病院、順天堂浦安病院、成田赤十字病院、国保旭中央病院、亀田総合病院、君津中央病院、千葉労災病院の12拠点病院が指定されました。これらの拠点病院の条件として1) 専門的ながん医療の提供、2) 地域のがん診療の連携協力体制の構築、3) がん患者に対する相談支援及び情報提供等が義務付けられました。具体的には5大がんに対する集学的治療の提供体制、手術、放射線、化学療法、緩和ケア、クリティカルパス（検査、治療、の診療計画表）、カンサーボードの設置、化学療法、外来化学療法、レジメン登録（専任医師、薬剤師、看護師）、

緩和ケア、緩和ケアチームの整備（専任医師、専従看護師）などが必須項目として挙げられてきました。また、患者相談支援の充実、院内がん登録、緩和ケア研修なども必須となりました。また、平成21年度から地域連携クリティカルパスの施行も義務づけられました。これは拠点病院が地域の医療機関と連携しながら質の高い医療を患者さんに提供できるようにするためのものです。千葉県では胃がん、大腸がん、子宮がん、乳がん、肝がん、肺がんの6大がんのそれぞれの臓器がんにおける主な医師と、県医師会、県健康福祉部などのメンバーにより地域連携クリティカルパス部会を作り、活動を開始しています。

各拠点病院の長および千葉県健康福祉部、千葉県医師会、国立がんセンター、放医研のメンバーからなるがん診療連携協議会が拠点病院の運営を行い、この下部組織として教育研修専門部会、院内がん登録専門部会、相談支援専門部会、在宅緩和医療専門部会、地域連携クリティカルパス部会があり、専門的な業務の運営に当たっています。千葉県がんセンターはこの拠点病院事業の中心として活動しており、千葉県におけるがん治療の均てん化、標準化、レベルアップに貢献しています。

臨床の現場から

悪性リンパ腫の分子標的治療

腫瘍・血液内科部長 熊谷 匡也

腫

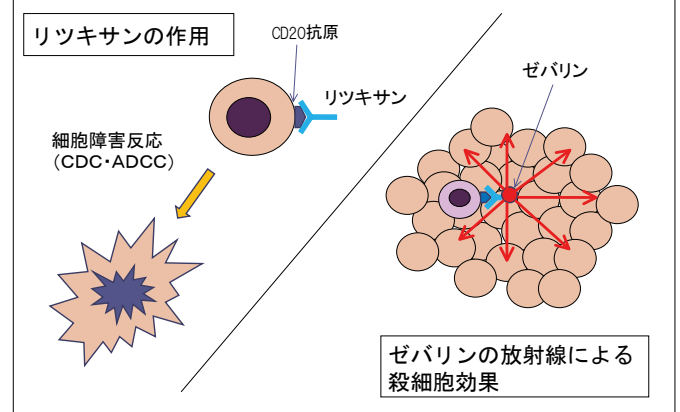
瘍・血液内科の診療の特徴は悪性リンパ腫の症例が非常に多いことで、ほぼ県下全域から年間約120名の患者さんが紹介されてきます。悪性リンパ腫は、血液細胞の一種であるリンパ球が悪性化して無秩序に増殖する病気で、日本人では年間一人程度発症します。ホジキンリンパ腫と非ホジキンリンパ腫の二つに大別され、非ホジキンリンパ腫はさらにB細胞性、T細胞性、NK細胞性に分けられます。近年、B細胞性リンパ腫の新しい治療法として日常の診療で用いられるようになった分子標的薬について解説します。リツキサン（一般名リツキシマブ）は、Bリンパ球の表面に発現しているCD20抗原というタンパクに結合するマウス/ヒトキメラ型抗CD20抗体です。CD20抗原はB細胞性リンパ腫の大多数に存在していますが、他の血液細胞や体細胞には発現していないため、B細胞性リンパ腫に対する抗体治療の優れた標的となります。リツキサンはこの抗原に結合する（抗原-抗体反応）ことで、主に免疫反応による細胞障害作用でリンパ腫細胞を死滅させます。抗癌剤のような血液毒性はほとんどなく腫瘍細胞の抗癌剤感受性を増強することから、化学療法と併

用することで治療効果が高まることが期待されます。

ゼバリン（一般名イブリツモマブ・チウキセタン）は、抗CD20抗体にイットリウム90という放射性同位元素を結合させた新しい分子標的薬で、当センターでも平成21年10月からこの治療が開始されました。ゼバリンが腫瘍組織内のCD20抗原を有する細胞に結合することで、直接結合していない隣接した腫瘍細胞に対しても、イットリウム90から放出された放射線（β線）により殺細胞効果を発揮します。この作用によってCD20抗原の発現がそれほど強くない細胞や、リツキシマブが届きにくい大きな腫瘍の内部に対しても効果が期待されます。

悪性リンパ腫に対する抗体医薬としては、抗CD20抗体以外にも、抗CD22抗体や抗CD52抗体等の開発が進められており、抗体治療が将来にわたって重要な役割を担うことは間違いないと考えられます。

B細胞リンパ腫に対する抗CD20抗体治療の模式図



第1回放医研・千葉県がんセンター合同シンポジウム開催

平成21年10月27日、放医研と当センターは「がん治療の医療・研究における相互協力を推進し、その成果の普及を促進することにより、我が国の放射線医学分野の発展・継承に寄与することを目的とした協力協定」を締結しました。これに基づいて、平成22年3月13日にプラザ菜の花にて第1回シンポジウムが開催されました。テーマは「千葉県における難治性がんに対する診療・研究ネットワーク構築」でした。

今回はゲノム研究および脳腫瘍、膵臓がん、肺がんの臨床成績について、各施設より講演が行われ、活発な議論が行われました。当センターからは研究局の大平先生、脳外科井内先生、呼吸器科松井先生、消化器外科山本先生から講演をいただきました。今回のシンポジウムにおいて、両機関でそれぞれ得意とする治療

法および施設の相互利用による、さらなる治療成績の向上、および千葉県における医療均てん化に向けての方向性が示されたように思います。

今回のシンポジウムに参加、ご協力いただいた皆様に感謝いたします。
(放射線治療部 幡野和男)



看護の現場から

安全で良質な外来看護の

提供への取り組み

外来看護師長 金敷 美和

平成 21 年 4 月から外来は、看護の専門性をさらに高める事を目指して診療科部門、通院化学療法室部門および検査部門の 3 部門体制と致しました（別図参照）。千葉県がんセンターにおけるがん診療の体制が最近では大幅に外来に移行してきており、外来看護師の役割も大きくなってきています。外来診療においては、今まで医師が診療の中心でしたが現在では、外来診療で治療方針を決定したり、外来治療を継続していく場面において看護師の役割が重要になってきました。医師だけでは目が届かないような患者や家族の日常生活を視点においた看護師のサポートや介入が、治療に伴う有害事象をより少なくしています。また外来看護師を中心として多くの医療スタッフによる患者へのアプローチが可能となり患者や家族の希望に沿う医療を提供することができるようになり、外来看護師の役割が明確になってきました。

外来のスタッフは、常に新しい治療について勉強し患者に重篤な有害事象がでないようにセルフケアマネジメントに力を注ぎ、また地域連携バスや手術前オリエンテーション等新たな業務が増加している中、患者や家族

が家で過ごすことに困らないようにケアを続けています。これらのケアは外来のスタッフだけではもちろんできないことで、医師や外来を拠点に置くサポーター型ケアセンターには大きな支援を頂いています。地域医療連携室、患者相談支援センターのスタッフにも多く助けられています。外来では、病棟のスタッフ、薬剤師や診療放射線技師、栄養士、臨床心理士、臨床検査技師、医事課等とも連携が必要でありこれらの皆さんと協力し、今後も安全で良質な外来看護の提供に取り組んでいきます。

検査（内視鏡・画像診断部・PET）

- ・検査や治療時の熟練した技術の提供
- ・安全で安楽な検査のサポート
- ・異常の早期発見と対処
- ・医師やレントゲン技師等との連携

通院化学療法

- ・抗がん剤の安全・確実な投与
- ・副作用症状のマネジメント
- ・患者、家族のセルフケア支援
- ・患者の意思決定支援の援助
- ・心理、社会面への援助
- ・適切な部署との連携

外来診療科・輸血療法科

- ・治療における意思決定支援
- ・治療のオリエンテーションや説明
- ・患者や家族へのセルフケア支援
- ・症状や有害事象に対する対処方法
- ・地域連携バスの説明
- ・電話相談・処置の介助
- ・適切な部署との連携

千葉県在宅緩和ケア支援センター開設

平成 22 年 1 月 28 日に、千葉県がんセンター内に「千葉県在宅緩和ケア支援センター」がオープンしました。背景としては、国のがん対策基本法制定と前後して千葉県においても平成 20 年 3 月に「がん対策推進計画」が策定され、そのがん対策推進の施策の第 4 項に「在宅緩和ケア」と記されていて、県の施策の一環としての展開です。住み慣れた地域での療養を希望したときに、患者さんとその御家族が、その地域において、生活の質を維持し、安心してその人らしく生きていくことができるように、各地域でこのような方々を支援する体制を整備していくことが必要である、とその要旨（千葉県がん対策推進計画より、一部改変）に謳われています。地域に開かれた、地域との十分な連携を基盤とした、当センターの関わりが今後さらに重要性を増していくものと考えています。

（緩和医療科 渡辺 敏）

千葉県在宅緩和ケア支援センター
～住み慣れた地域で安心して過ごせるように～

がん患者さんの自宅での療養を応援します！
患者さん、ご家族、医療従事者の方、
どなたでもご利用いただけます。

自宅に困っている事があるんだけど、だれに聞いたらいいの？
訪問診療や訪問看護ってどんな事をしてくれるの？それって何処にあるの？
お医者さんや看護師さんと上手くコミュニケーションが取れない気がする…

様々なご相談に応じます。
どのような事でもお気軽にお電話下さい。

☎043-264-5465

千葉県在宅緩和ケア支援センター
〒260-0717 千葉県千葉市中央区千原1-9-10 千葉県がんセンター内
水・木・金 9:00～16:00 相談員対応(電話のみ)

PETCT適応拡大のお知らせ

平成22年4月1日からPETCTの適応疾患が「悪性腫瘍（早期胃がんを除く）」に拡大されました。早期胃がんを除くほぼすべての腫瘍でPETCT検査が可能です。ただし、すべての腫瘍で「他の検査、画像診断により病期診断、転移、再発の診断が確定できない患者に使用する」と条件が付きましましたので、これまでのように疑い病名（例：肺がん疑い、良悪性鑑別）では保険適応がありません。PETCT検査は、病理診断により悪性腫瘍が確認されている場合もしくは臨床的に高い蓋然性をもって悪性腫瘍と診断される患者に限定されます。平成21年2月2日からPETCT検査を開始し、平成22年3月末までに計1805件の検査を行いました。院外の先生方からの検査依頼は1805件中291件（共同利用率：16.1%）でした。PETCT検査の予約はこれまでどおり地域医療連携室が窓口となり受付ますので、今後ご利用くださるようよろしくお願いいたします。（核医学診療部 戸川貴史）



平成22年4月1日現在の外来診療担当一覧です。

外来診療担当医表

診療科	曜日	月	火	水	木	金
電先生外来					電	
消化器外科		永田 趙 池田	山本(宏) 早田 鍋谷	滝口 貝沼 池田	永田 滝口 趙	山本(宏) 早田 貝沼 太田
消化器内科		山口 傳田 廣中	原 傳田 須藤 (PM)高橋	山口 傳田 中村(和)	原 傳田 廣中	須藤 中村(和) 大山
整形外科		米本 館崎	石井 岩田	館崎	館崎	石井 館崎 萩原 装具外来 (PM)
皮膚科		(PM)米山		(PM)佐藤(貴)		
乳腺外科		岡田 山本(尚) 岩瀬	山本(尚) 伏見	中村(力) 山本(尚) 岡田	山本(尚) 伏見	岡田 中村(力) 岩瀬
呼吸器外科		木村 飯笹 芳野		木村 飯笹		木村 飯笹 松井
呼吸器内科		新行内	板倉		新行内 板倉	新行内
(アスベスト専門外来)					新行内	
頭頸科		佐々木 土井 河田	佐々木 土井 河田		佐々木 土井 河田	
泌尿器科		江越 小丸 浜野 ウロストミー外来	植田 深沢	丸岡 宮坂	植田 深沢 丸岡 小丸 小林	小林 江越 コロストミー外来
歯科			(AM)鶴澤		(AM)笠松	
婦人科		錦見	田中 鈴鹿 大崎 錦見	大崎	田中 鈴鹿 大崎 錦見	鈴鹿
脳神経外科		井内 川崎	(新患のみ)	井内 堺田	(新患のみ)	堺田 川崎
漢方外来			(AM)小川			
腫瘍血液内科		熊谷 伊勢	酒井(力) 辻村 菅原	酒井(力) 熊谷 菅原	高木 伊勢 熊谷	酒井(力) 辻村 熊谷
緩和医療科		坂下	坂下	坂下	坂下 (PM)渡邊	坂下
精神腫瘍科		秋月	秋月		秋月	秋月
放射線治療部		幡野 酒井(光) 荒木 今草倍	幡野 酒井(光) 荒木 今草倍	幡野 酒井(光) 荒木 今草倍	幡野 酒井(光) 荒木 今草倍	幡野 酒井(光) 荒木 今草倍
核医学診療部		戸川 久山	戸川 久山	戸川 久山	戸川 久山	戸川 久山
画像診断部		高野 船津	高野 船津	高野 船津	高野 船津	高野 船津
内視鏡検査		原 須藤 大山	山口 中村(和) 大山	原 須藤 廣中	山口 中村(和)	山口 傳田 原 廣中
超音波検査		中村(和)	廣中		須藤 大山 (菊池)	
心臓超音波検査				(PM)佐藤(規)		(PM)佐藤(規)
緩和医療センター		渡邊 藤里	渡邊 藤里	渡邊 藤里	渡邊 藤里	渡邊 藤里

外来受付時間 午前9時～午前11時
診療時間 午前9時～午後5時

※医師の都合により休診・変更場合があります。
※歯科、皮膚科は、当センター患者様のみ受診可能です。

当センターを受診する場合は、
地域医療連携室予約担当で
診療予約をおとりください。
TEL 043(264)5431



JR千葉駅から 所要時間:約25分

千葉中央バス: 萱田駅、鎌取駅、千葉リハビリセンター、大宮団地(星久喜経由)行乗車・厚生年金休暇センター前下車

JR鎌取駅から 所要時間:約13分

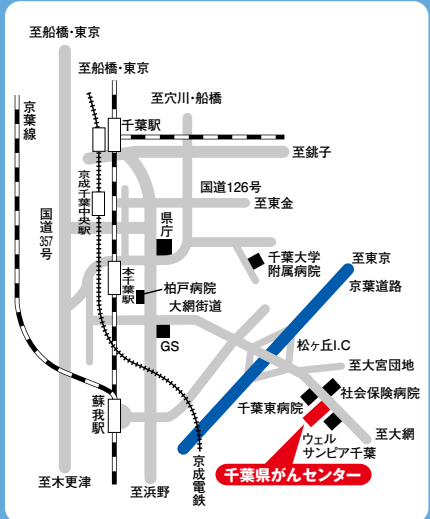
千葉中央バス: 千葉駅・蘇我駅行乗車・厚生年金休暇センター前下車

JR蘇我駅から 所要時間:約16分

千葉中央バス: 鎌取駅行乗車・厚生年金休暇センター前下車

松ヶ丘I.Cから

大網街道を大網へ向かって約2km右側



千葉県がんセンター

〒260-8717 千葉市中央区仁戸名町666-2
TEL.043-264-5431 FAX.043-262-8680
<http://www.chiba-cc.jp/>